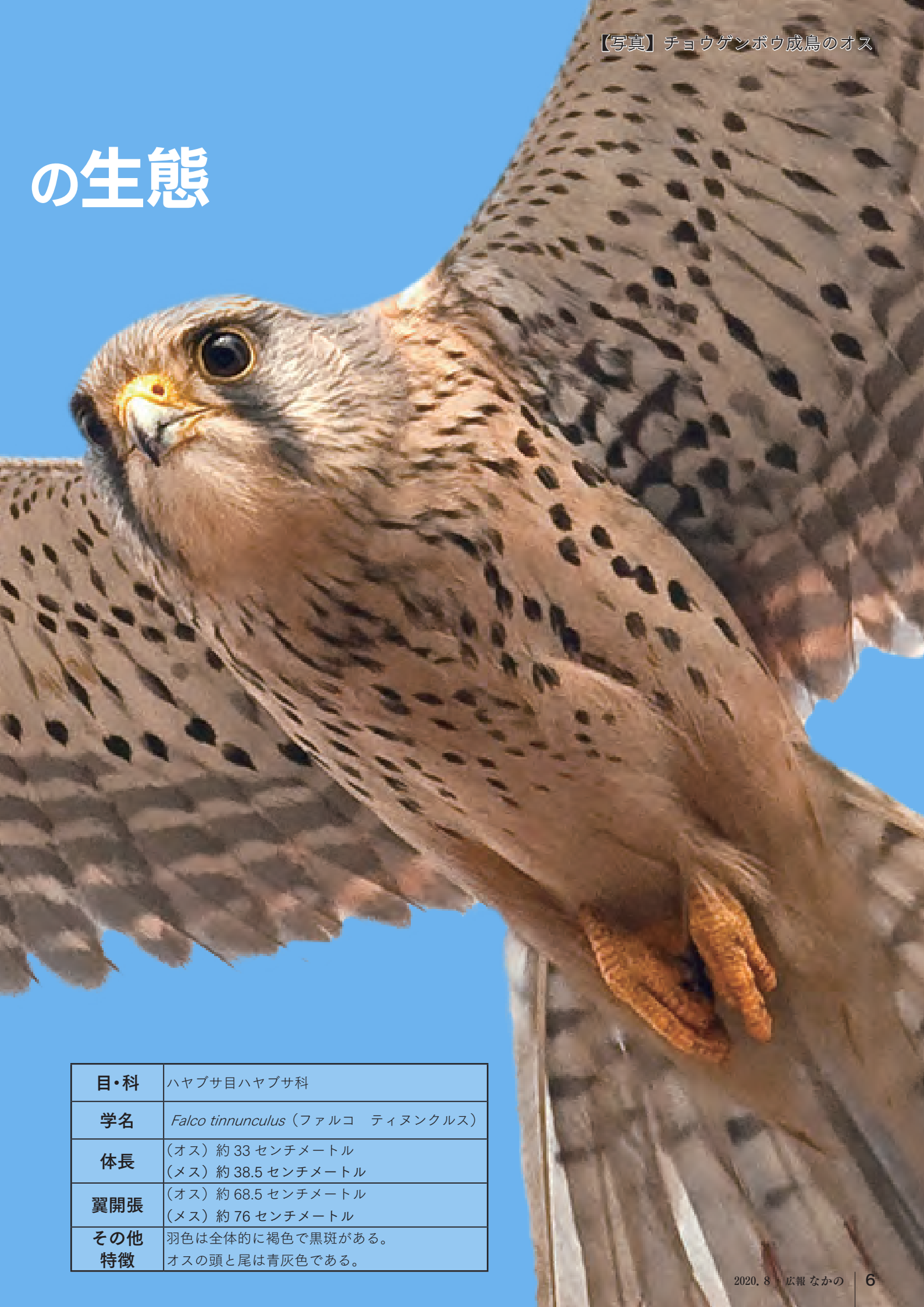


# の生態



目・科	ハヤブサ目ハヤブサ科
学名	<i>Falco tinnunculus</i> (ファルコ ティヌンクルス)
体長	(オス) 約 33 センチメートル (メス) 約 38.5 センチメートル
翼開張	(オス) 約 68.5 センチメートル (メス) 約 76 センチメートル
その他特徴	羽色は全体的に褐色で黒斑がある。 オスの頭と尾は青灰色である。

原寸大写真で紹介！

# チョウゲンボウ

## ○どんなところに住んでいるか

チョウゲンボウは、アフリカ大陸からユーラシア大陸に分布し、国内では全国的に見られる鳥です。繁殖期は主に草地や農耕地を中心とした平野部と、住宅地と若干の草地と農耕地を含む都市部に生息し、崖の横穴や岩の隙間、カラスの古巣や木の洞などで営巣します。営巣は近畿地方から北海道にかけて確認されています。越冬期は全国的に分布し、繁殖期と同様な環境に加え、干拓地や湿原にも生息します。

## ○どんなふうに餌を捕るか

「停空飛翔（ていくうひしょう）」といって、空中の一点で停止する飛行法や留まり木による待ち伏せを行い、餌となる動物を発見したところで降下し捕獲します。

## ○どんなものを食べるか

主に、「ハタネズミ」をはじめとした小型のほ乳類や小鳥類からハト程度までの大きさの鳥類、コウチュウ目やバッタ目などの昆虫類、は虫類を食べます。



▲ハタネズミ

## ○営巣

繁殖時期は地域や個体によって大きく異なりますが、産卵は早いつがいでは3月に、遅いつがいでは6月頃行われます。なお、日本に生息するチョウゲンボウでは、1羽のメスが産む卵の数は1個から8個までと差があります。



▲市ホームページではより詳しい生態をご覧ください。



▲鳴き声を聞くことができます。  
(公益財団法人日本野鳥の会)